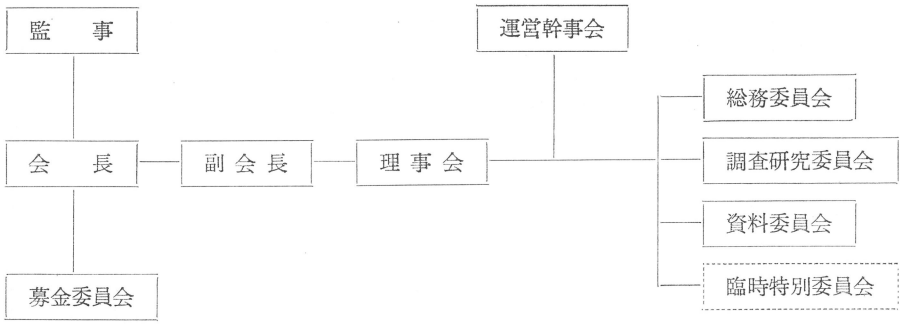
会　務　報　告

1.　運営組織について



2.　1978. 79年度役員

会　長　四手井綱英

副会長　森下正明　吉良竜夫

理事長　朝日　稔

理　事　奥田　東　今西錦司　小川房人
千地万造　石井健一　菅沼孝之
渡辺弘之

監　事　豊崎　稔　池辺展生*

*前監事　渡瀬　譲氏の死亡（昭和53年5月17日）に伴い，昭和53年6月23日臨時総会で選出

3.　委　員　会　（◎印＝委員長）

総務委員会　朝日　稔◎ 小川房人　石井健一

連絡先

1．大阪市北区西天満4丁目10－7　書協ビル内
ＫＯＮＣ事務所　電話06－364－2422

2．西宮市武庫川町1－1　兵庫医科大学生物学教室　朝日　稔　電話0798－45－6439

調査研究委員会　菅沼孝之◎　山下善平　渡辺仁治　小林圭介　笠間太郎　川那部浩哉　牧　岩男　村上興正　日浦　勇　堀田　満　中田千佳夫

連絡先

1．奈良市北魚屋西町　奈良女子大学理学部生物学教室　菅沼孝之　電話0742－23－1131

2．大阪市東住吉区東長居町長居公園　大阪市立自然史博物館館長研究室　電話06－697－6221（直）694－0500

資料委員会　千地万造◎ 鈴木紀雄　石田志朗　渡辺弘之　佐藤治雄　堀　道雄　布谷知夫　山西良平

連絡先

大阪市東住吉区東長居町長居公園　大阪市立自然史博物館　千地万造　電話06－697－6221（直）694－0500

4.　事　業　の　経　過

A　研究助成金の交付先決定

調査研究委員会から会員の皆様にお願いしました助成研究の推薦は三件のお申出があり，調査研究委員で予備審査を行った上，運営幹事会で検討し，うち二件を決めました。

1．鴨川自主生態ゼミナール
（代表者）中西　収（京都大学農学部3回生）
（研究題目）賀茂川・鴨川の環境構造と動物群集
（推薦者）川那部浩哉　堀田　満
（交付助成金）10万円

2．中村　実（草津市立松原中学校教諭）他6名
（研究題目）琵琶湖を素材とする環境教育の計画と実践
（推薦者）立川正久
（交付助成金）10万円

1の研究は，京都大学の農学部・理学部の1～3回生24名の自主的なゼミナールで，これまで2年間の調査研究を続け，河川環境の変化と鳥類相・底生動物（堰堤と水質の影響を中心に）の関係，河川環境に対応する真正蜘蛛類相等について調査をすすめてきたものである。調査の旅費は各自が負担し，調査研究器具は教室のものを借用するなど，いろいろの困難を伴っているので助成金を交付し，調査研究を援助することにした。今年度中にはかなりの結果が期待できる。

2の研究は，琵琶湖を素材として，自然保護教育の理念と中学校理科のカリキュラム開発をめざしている。すでに3年間の実績があり，あと一息で結果が期待できるので今回の募集の主旨をいくらか拡大解釈して交付することにした。

B　自然保護教育セミナー開かれる

8月9日，大阪市立自然史博物館の会議室で自然保護教育セミナーが開かれました。このセミナーは，一昨年，大阪府自然保護課の依頼で，日本自然保護協会関西支部の手で作られた「大阪の自然とわたしたち」（大阪府自然保護読本）を使い，学校教育の中で，どのようにして自然保護教育をすすめることができるかを考えてみようというもの。実際に学校の授業で使っていただいた次の三人の小学校の先生方から子供達の反応等を話していただきました。

竹田裕子先生　（富田林市立新堂小学校）
岡田恵子先生　（守口市立春日小学校）
藤原登志子先生　（吹田市立竹見台小学校）

各学校は，大阪府下の，農村部，都市部，千里ニュータウンと，その立地条件が異なります。先生方のお話しでは，やはり住んでいる環境によって，子供達が興味を持っている内容には差が見られるようでしたが，各校とも，個々のページ，また絵や写真は，おもしろく見ていても，全体の流れはなかなか子供には理解されていない，しかし，紙の再生やゴミの問題などを，身近な問題として関心を持ってくれる子供は多い，ということでした。参加者の討論では，読本の内容についての意見のほか，どうすれば，自然を大切にする必要があるということを子供にわかってもらうことができるか，また，授業の中で，どうとりあげていけばいいか，どんな教材が効果があるか，などが話し合われました。

参加者は次のとおり。

藤原登志子・竹田裕子・岡田恵子・久世源太郎・池辺展生・朝日　稔・河合敏雄・千地万造・戸田耿介・布谷知夫・山西良平・布谷清子

なお，「大阪の自然とわたしたち」はまだ残部がありますので，御希望の方は，下記へお申し込み下さい。

日本自然保護協会関西支部
大阪市東住吉区東長居町　大阪市立自然史博物館館長研究室気付　送料共　1200円

C　調査研究活動

調査研究事業として，本年度は，下記のテーマがすでに決まっていますが，それぞれのテーマ毎に研究責任者を決め，チームをつくって研究をはじめることになりました。

1．二次林とその環境維持機構の評価と保全に関する研究　（責任者）吉良竜夫
（連絡先）大阪市住吉区杉本町　大阪市立大学理学部生物学教室　電話06—692—1231

2．社寺林の分布・実態および保全に関する研究
（責任者）菅沼孝之
（連絡先）奈良市北魚屋西町　奈良女子大学生物学教室　電話0742—23—1131

3．近畿地方における自然破壊の進行とその指標生物に関する研究
（責任者）堀田　満　　日浦　勇
（連絡先）1 京都市左京区吉田二本松町　京都大学教養部生物学教室　電話075—751—2111
2 大阪市東住吉区東長居町長居公園　大阪市立自然史博物館　電話06—697—6221

原稿募集についてのお願い

会員の皆様からの投稿をお待ちしております。種類は下記のとおりです。　（原稿用紙は400字詰横書）

1．原著論文及び論説
イ．原稿用紙50枚以内（図表を含めて刷上り10ページ）
ロ．表題・著者名は，和・欧両文で記して下さい。
ハ．別刷は100部まで無料。それを越える場合には希望部数をお知らせ下さい。

2．短　報
イ．原稿用紙10枚以内
ロ．別刷は100部まで無料。それを越える場合には希望部数をお知らせ下さい。

3．自然保護ニュース
各地の自然保護に関するニュースを原稿用紙5枚以内

4．提言・随想　　原稿用紙2枚～3枚

5．書　評　　原稿用紙2枚～3枚

業績番号についてのお願い

本機構では，次のものについて原則として発表先を問わず業績番号をつけることにしましたので御協力下さい。

1．本機構が事業として行った調査研究成果
2．本機構が助成金を交付した調査研究成果
3．会誌（会報および年報），その他ＫＯＮＣ出版物に掲載した調査研究論文
4．上記研究から派生して得られた成果で，研究者が業績番号を付した方が良いと判断されたもの。

本機構の出版物リスト以外に投稿された場合の業績番号の入れる位置は，各出版物の規定に従って下さい。ただし，和・欧文とも下記の表現をお使い下さい。

関西自然保護機構業績第＿号
Contribution from Kansai Organization for Nature Conservation, no.＿＿

番号は，その都度，資料委員会にお問合せ下さい。